

## 情報公開文書

**課題名** : Coma Recovery Scale-Revised は Glasgow coma scale と比べて軽度意識障害患者の意識レベルの評価に有用である

**研究期間**: 倫理委員会承認日～2022年12月31日

### 1. 研究の対象

2019年9月～2020年3月に当院に入院され、意識障害があった患者さん

### 2. 研究目的・方法

意識障害のある患者さんの意識レベルの評価は Glasgow coma scale(GCS)と呼ばれる開眼、言語反応、運動反応の3つについて点数化して表したものが繁用されています。しかし、軽い意識障害の場合、GCSでは患者さんの反応が変化してもスコアが変わらない場面が散見されています。一方、近年国際的に用いられている Coma Recovery Scale-Revised(CRS-R)は聴覚、視覚、運動、口腔運動、コミュニケーション、覚醒の6つの視点から意識障害を点数化し判断する指標であり、軽度意識障害の患者さんでも反応に変化があればスコアが変化しやすく、意識レベルの変化を反映できると考えられています。

今回、意識障害の評価方法として従来から用いられている GCS と新しい評価の CRS-R を比較し、軽度意識障害の患者の意識レベルの評価に有用であるか調査することを目的として本研究を実施することとしました。

本研究では上記期間に当院へ入院され、理学療法開始時に意識障害がみられた患者さんについて、日常診療で評価された GCS と CRS-R の経時的な変化を電子カルテから収集します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病名、年齢、性別、意識レベル(GCS、CRS-R)

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センターリハビリテーション技術科 北野貴之(研究責任者)

住所: 浜松市中区富塚町 328 番地

電話: 053-453-7111(代表)